

令和3年度 事業報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

一般財団法人 飛騨地域地場産業振興センター

令和3年度は、一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、度重なる不要不急の外出の自粛、旅行の制限、営業の自粛などが、暮らしや経済に大きな影響を与え、これまでに経験したことがない厳しい1年となりました。

このような情勢の中、岐阜県新型コロナウイルス感染症対策本部が示す「コロナ社会を生き抜く行動指針」に則り、感染症対策と経済活動を両立させ、計画していた事業について、一部の事業では開催時期の変更や規模の縮小などの対応をし、実施しました。

また、当財団の今後のあるべき姿や施設の老朽化に伴う大規模改修について協議するため、経営検討委員会を設立し、アンケートや面談を実施しました。

令和3年度に実施した主要事業の概況は、次のとおりである。

I. 公益目的事業

1. 地場産品展示・普及事業

(1) 飛騨・暮らしの工芸品展示会事業

①実施目的

飛騨地域には、伝統的工芸品（飛騨春慶・一位一刀彫）の他に、陶磁器・木工・紙製品・ガラス・布製品・染物・竹細工など、数多くの優れた工芸品が作られており、全国的知名度・認知度を高めるため、積極的なPRが必要であることから、これら工芸品の良さを広くPRするための展示会を実施した。

②実施期間 令和4年2月24日（木）～3月1日（火） 6日間
10：00～20：00（最終日は18：00まで）

③実施場所 兵庫県神戸市中央区三宮1-10-1
さんちかホール（約250㎡）

④出展者数 5社（吹きガラス、漆工芸、木工、木工家具）

⑤展示内容

ア. 工芸品展示コーナー

飛騨春慶、一位一刀彫、陶磁器、布細工、染物、鉄工製品、竹細工、和紙、ガラス、わら細工、木工小物、木工家具 等

イ. 観光・工芸品パンフレットコーナー

⑥来場者数 1,186人

(2) 飛驒の物産PR事業

①実施目的

歴史の中で培われた伝統・文化・豊かな自然などの観光資源をはじめ、各種物産を広く紹介することで、観光客の誘客、物産の販路開拓・需要拡大を図るために実施した。

②実施内容

<今治会場>

ア. 実施期間 令和3年11月6日(土)・7日(日) 2日間
9:00～16:30

イ. 実施場所 愛媛県今治市旭町2-3-5
一般財団法人 今治地域地場産業振興センター
今治せんいまつり2021「全国地場産交流展」

ウ. 出展内容
・飛驒地域の物産紹介
漬物、味噌、駄菓子、らーめん等の委託販売
・飛驒地域の観光紹介
飛驒地域3市1村の観光パンフレットを設置

エ. 入場者数 9,000人

<防府会場>

ア. 実施期間 令和3年11月13日(土) 9:00～16:00

イ. 実施場所 山口県防府市八王子2-8-9
公益財団法人
山口・防府地域工芸地場産業振興センター
デザインプラザHOFU じばさんフェア2021
「全国うまいもの市」

ウ. 出展内容
・飛驒地域の物産紹介
漬物、味噌、駄菓子、らーめん等の委託販売
・飛驒地域の観光紹介
飛驒地域3市1村の観光パンフレットを設置

エ. 入場者数 4,700人

(3) 飛驒の伝統的工芸品展

①実施目的

飛驒地域の代表的工芸品である飛驒春慶、飛驒一位一刀彫及び陶磁器(小糸焼・洪草焼)を、観光客・市民に向け広く紹介することで、伝統的工芸品の魅力の再発見、販路拡大につなげることを目的に実施した。

②実施期間 令和3年11月1日(月)～7日(日) 7日間
9:00～19:00
(展示は、11月30日まで常設展示として継続)

③実施場所 高山市上一之町75 飛驒高山まちの博物館

④展示内容 飛驒春慶、飛驒一位一刀彫、小糸焼、洪草焼 芳国舎 89点

⑤来場者数 1,186人

(4) 地場産品普及開拓事業

①実施目的

飛騨地域の事業者により製造された製品の普及と販路開拓を目的に、首都圏において開催される見本市に出展した。

②実施期間 令和4年2月8日(火)～10日(木)3日間
9:00～18:00(最終日は17:00まで)

③実施場所 東京ビッグサイト(東京都江東区有明)
東京インターナショナル・ギフト・ショーに小間出展

④出展者数 8社

⑤展示内容 木工小物、木工家具、畳、染物、陶磁器

⑥来場者数 144,923人

2. 地域人材確保・養成事業

(1) 飛騨地域ものづくり技能向上研修

①実施目的

飛騨地域には、伝統工芸を始めとして、多くの優れた技や技術が蓄積されており、次の世代へ引き継がれることが重要である。家具や木工の若手を対象に、第一線の職人から直接指導を受けることで、技能の向上・ものづくり意識の啓発を目的に実施をした。

②実施期間 令和3年8月19日(木)～12月19日(日)

③研修内容

ア. 組手 (5名が1回研修。延べ1回・5名)

日本の伝統的な建築技術である組手の技法の基礎を習得した。

課題 < 腰掛け鎌継ぎ/金輪継ぎ/しゃち継ぎ >
墨つけ・きざみ加工・完成まで

講師 高山建築組合 小瀬久則組合長 他2名
参加者 5名

イ. 曲げ物 (7名が2回研修。延べ2回・14名)

飛騨春慶の木地の一つである曲げ物の制作を通し、伝統工芸における木地加工の基礎を習得した。

課題 < 小判弁当/丸弁当 >
木地加工・曲げ・かんば綴じ

講師 木地師(曲げ物) 西田 恵一氏
参加者 7名

ウ. 摺り漆 (7名が7回研修。延べ7回・49名)

摺り漆の技法を通し、漆の扱い方・漆の塗り方の基礎を習得した。

課題 < 曲げ物での制作品等 >
目止め・下地・研磨・摺り漆

講師 塗師 鈴木 俊文氏
参加者 7名

エ. 木地蒔絵 (10名が10回研修。延べ10回・100名)

日本の伝統的な漆工芸技法である木地蒔絵の基礎を習得した。

課 題 < 木地蒔絵 >

木地への蒔絵の加飾

講 師 尚可舎 久世 和政 氏

参加者 10名

オ. 板物(留付) (8名が2回研修。延べ2回・16名)

飛騨春慶の木地の一つである板物(留付)の制作を通し、伝統工芸における木地加工の基礎を習得した。

課 題 < 八角小物入れ(ふた付) / 六角小鉢 >

カンナの調整・木地加工・底板入れ

講 師 木地師(板物) 小鳥 昇一 氏

参加者 8名

カ. レザークラフト (1組(5名1組)が4回研修。1組(5名1組)が6回研修。延べ10回・50名)

革の基礎知識及び革加工技術の基礎を習得した。

課 題 < ペンケース / ミニウォレット >

革のカット・穴開け・縫い合わせ・ボタン又はファスナーの取り付け

講 師 レザークラフト 北川 侃奈 氏

参加者 10名

キ. 陶 芸 (3組(3名1組)が2回研修。延べ6回・18名)

陶磁器の基礎知識及び成形の基礎を習得した。

課 題 < 器 >

土練り・ろくろ成形

講 師 しづく窯 中西 忠博 氏

参加者 9名

※7種類の研修に参加した人数等

・実人数 56名

・延べ回数 38回

・延べ人数 252名

(2) 販売促進研修

①実施目的

飛騨地域の事業者の販売力向上・販路拡大を目的に、POP講座を実施した。

②実施内容

ア. POP講座 初級編

実 施 日 令和4年1月12日(水)

講 師 販促インストラクター 牧ヶ野 芳男 氏

参加者 15名
イ. POP講座 中級編
実施日 令和4年2月16日(水)
講師 販促インストラクター 牧ヶ野 芳男氏
参加者 9名

3. 地場産業活性化対策事業

(1) 飛騨の味まつり

①実施目的

飛騨地域で生産される食料品を広く紹介し、「飛騨の味」の需要促進と販路拡大を図ることを目的に、春と秋の2回(第66回・67回)実施した。

②実施内容

<春>

ア. 実施期間 令和3年7月10日(土)・11日(日) 2日間
イ. 実施場所 飛騨高山まちの体験交流館 交流広場
ウ. 出店者数 20店舗
[高山市13、飛騨市2、飛騨地域1(酒造組合)、その他4(越前市、蒲郡市、射水市、氷見市)]
エ. 来場者数 3,500人

<秋>

ア. 実施期間 令和3年10月23日(土)・24日(日) 2日間
イ. 実施場所 飛騨高山まちの体験交流館 交流広場
ウ. 出店者数 22店舗
[高山市12、飛騨市2、下呂市2、白川村1、飛騨地域2(酒造組合、あねさの会)、その他3(越前市、射水市、氷見市)]
エ. 来場者数 6,023人

(2) 親子伝統的工芸品体験教室

①実施目的

飛騨地域の代表的工芸品である一位一刀彫を実際に体験してもらうことで、一位一刀彫への理解を深め、ものづくりへの関心を高めてもらうため、夏休みを利用して親子による一位一刀彫の体験教室を実施した。

②実施日 令和3年7月31日(土)

③参加者 10組 20名

(3) 地域活性化促進事業

下記の事業に負担金を支出し、支援を行った。

・飛騨高山観光客誘致推進事業

(4) 情報収集提供事業

新聞情報を中心に、情報収集・整理・提供を行った他、インターネットにより地場産製品の発信を行った。

(5) おうちで飛驒の味まつり

①実施目的

飛驒の味まつりをインターネットで開催（ネットショップ）し、全国に飛驒の味をPRした。

②実施内容

- ア. 実施期間 令和3年6月10日(木)～28日(月) 19日間
- イ. 出店者数 38店舗（高山市32、飛驒市3、下呂市2、白川村1）
- ウ. 商品数 約160点

Ⅱ. 収益事業の状況

1. 地場産会館運営事業

施設利用状況

令和3年度の諸施設の使用状況は、下表の通りです。

延べ利用回数 484回（前年比 61回増）

施設利用料収入 3,572,415円（前年比 1,022,426円増）

単位：円

	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
施設利用料	3,753,740	4,071,740	3,796,849	2,549,989	3,572,415
利用回数	762	782	651	423	484

〔コロナによる貸館業務の停止及び時間短縮状況〕

- ・第4波 令和3年4月26日～6月20日（56日間）貸館業務の時間短縮
- ・第5波 令和3年8月27日～9月30日（35日間）原則貸館業務の停止
- ・第6波 令和4年1月21日～3月6日（45日間）貸館業務の時間短縮

2. 高山市営広小路駐車場管理事業

駐車場利用状況

令和3年度の駐車場の利用状況は、下表の通りです。

延べ利用台数 26,154台（前年比 765台減）

駐車料金収入 8,294,650円（前年比 361,210円増）

単位：円

	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
駐車場利用料	14,360,720	13,829,310	13,684,900	7,933,440	8,294,650
利用台数	35,651	35,299	34,935	26,919	26,154

Ⅲ. 管理事業の状況

1. 理事会・評議員会の開催

当センターの適正・円滑な運営を図るため、理事会・評議員会を開催した。

(1) 理事会

- ① 第1回理事会 令和3年5月25日(火)(書面議決)
・主な審議内容 令和2年度事業報告及び収支決算等
- ② 第2回理事会 令和3年11月18日(木)
・主な審議内容 経営検討委員会の中間報告について
- ③ 第3回理事会 令和4年3月28日(月)
・主な審議内容 令和4年度事業計画及び収支予算等

(2) 評議員会

- ① 第1回評議員会 令和3年4月1日(木)
・主な審議事項 理事の選任(みなし決議)
- ② 定時評議員会 令和3年6月16日(水)
・主な審議内容 令和2年度決算書類の承認
理事及び監事の選任

2. 経営検討委員会の開催

- ① 第1回経営検討委員会 令和3年6月28日(月)
・主な審議内容 経営検討委員会の設立、委員長、副委員長の選任
経営状況、活動方針
- ② アンケートの実施 令和3年7月14日(水)～8月5日(木)
・アンケート内容 地場産センターの利用、役割など
地場産業事業者24団体、建物利用者26団体
- ③ 第2回経営検討委員会 令和3年10月27日(水)
・主な審議内容 中間報告書の検討
11月18日(木)理事会に報告
- ④ 面談の実施 令和4年1月20日(木)～2月3日(木)
・面談内容 地場産業活性化に関する課題、当財団の役割など
17の出捐団体(商工会議所、商工会、産業団体、自治体)